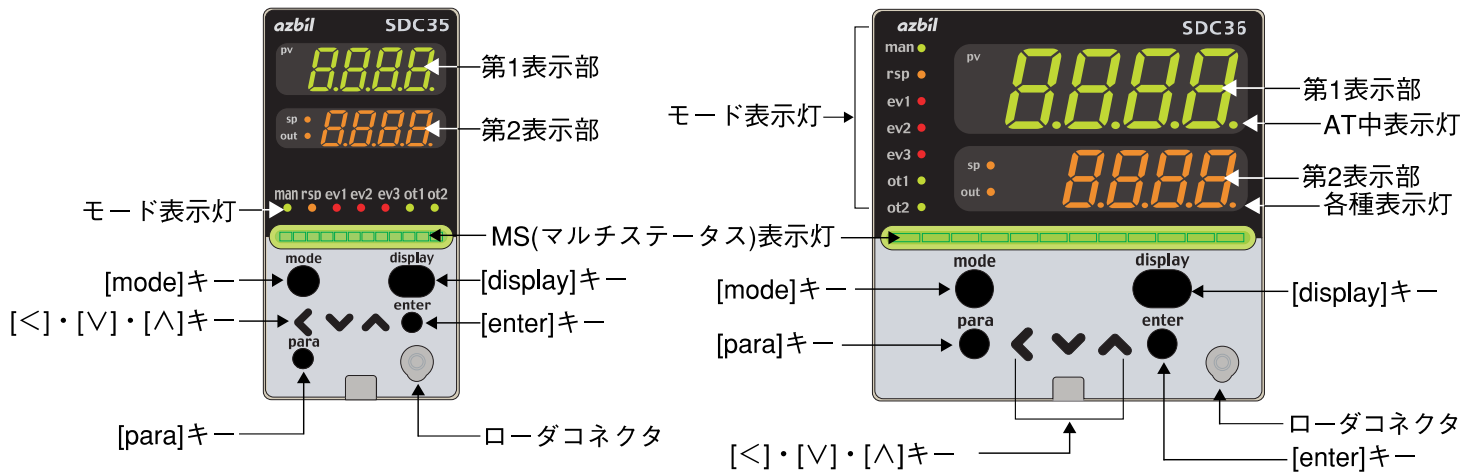


SDC35/36 キー操作ダイジェスト

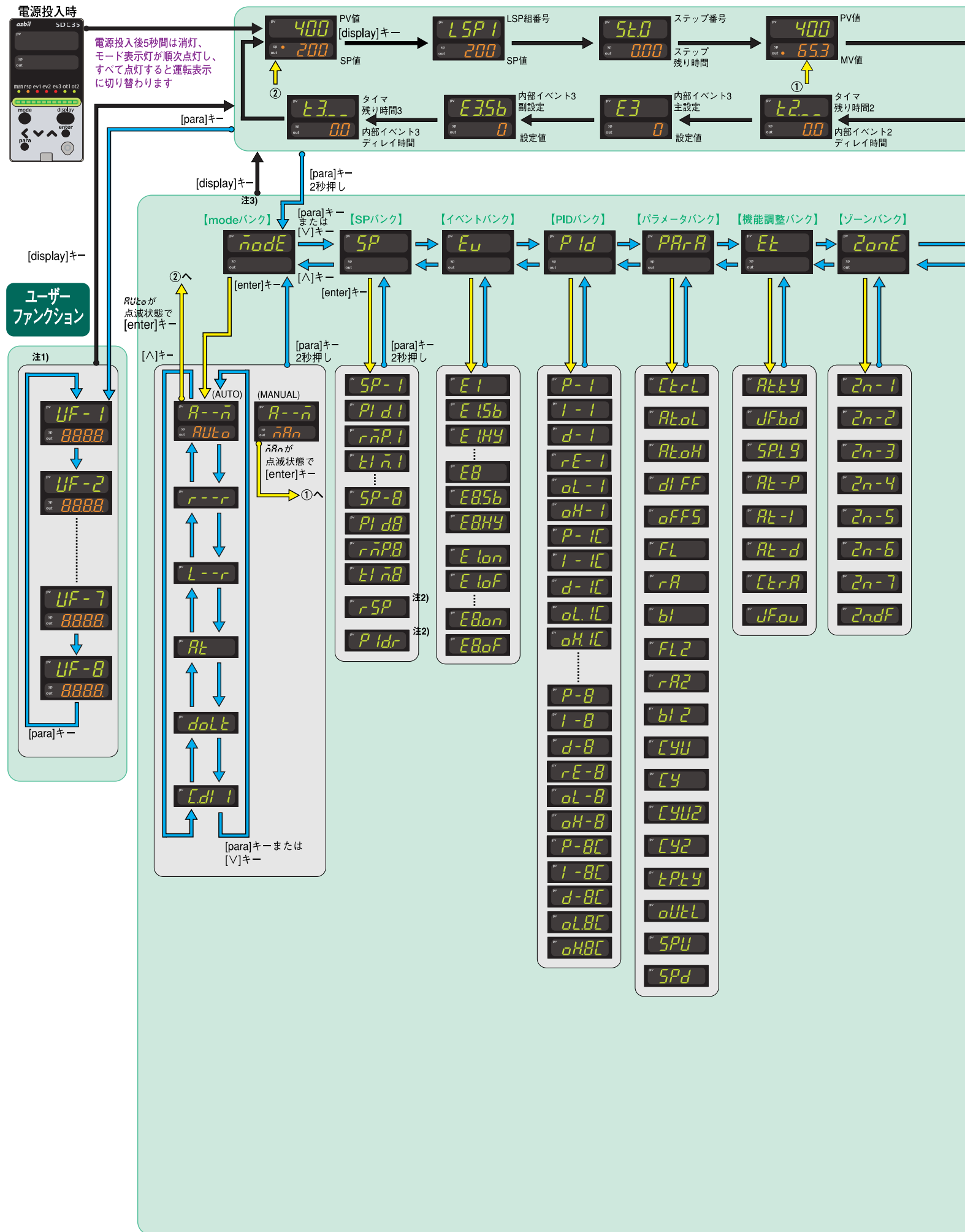
このシートはキー操作のダイジェストと、パラメータの遷移図や設定一覧を掲載しています。現場に置いていただき、設定・変更するときの参考にお使いいただくと大変便利です。また汚れがついても簡単に拭き取りが可能で、油性ペンでメモしても消しゴムで消せますので繰り返しご使用になれます。なお、詳しい説明については別冊のSDC35/36 詳細編CP-SP-1150 をご覧ください。



第1表示部	PVおよび各表示項目の表示値や設定値を表示します。 アラームが発生すると、通常表示とアラームコードの表示を交互に行います。AT(オートチューニング)実行時に、右端桁の小数点が2回ずつ点灯する点滅となります。
第2表示部	SP、MV、CTおよび各表示項目の表示値や設定値を表示します。 右端桁の小数点は、設定によりRUN/READYモードや通信状態などを表示することができます。
MS(マルチステータス)表示灯	点灯条件と点灯状態を設定することで、READYモードやアラーム発生時に点灯します。また、点灯状態には、点滅や左右往復のほかに、MVグラフ、DIモニタ、内部イベントモニタなどもあります。
モード表示灯	man : MANUALモードのとき点灯します(消灯時はAUTOモード) rsp : RSPモードのとき点灯します(消灯時はLSPモード) ev1~ev3 : イベント1~3出力ONのとき点灯します ot1・ot2 : 制御1~2出力ONのとき点灯します(電流出力および連続電圧出力では常に点灯)
[mode]キー	運転表示状態で1s以上押し続けると、次の0~7のうちあらかじめ設定してある一つの操作ができます。 0 : キー操作無効 1 : AUTO/MANUALモード切替(初期値) 2 : RUN/READYモード切替 3 : AT(オートチューニング)停止/起動切替 4 : LSP(ローカルSP)組切替 5 : 全DO(デジタル出力)ラッチ解除 6 : LSP/RSPモード切替 7 : 通信DI(デジタル入力)1のON/OFF切替
[display]キー	運転表示状態で表示項目の切り替えをします。 バンク選択やバンク設定などの運転表示状態以外で押すと、運転表示状態に切り替わります。
[para]キー	運転表示状態で2s以上押し続けると、バンク選択表示状態に切り替わります。
[<]・[V]・[^]キー	数値の増減、桁送りに使用します。 [V]・[^]キーは、バンクや表示項目の切り替えも行います。
[enter]キー	設定値の変更開始(点灯から点滅)および変更中の設定値の確定(点滅から点灯)を行います。
ローダコネクタ	スマートローダパッケージに同梱されている専用ケーブルを使用してパソコンと接続します。

キー操作と表示の遷移

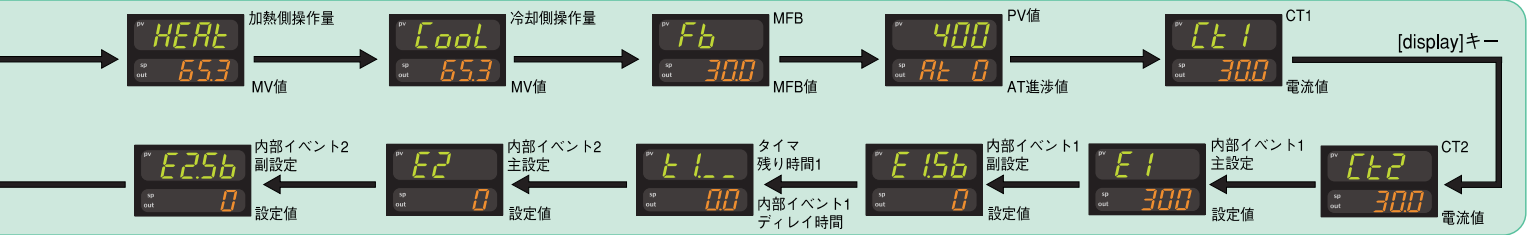
- オプションの有無、形番、表示設定
- バック項目表示中、ユーザーファンクション



(C73~C78)、表示レベル(C79)によって表示されない項目があります。

表示中に [display] キーを押すと入力中であってもキャンセルして運転表示項目に戻ります。

運転表示



バンク選択

